

2017年 9月 12日

各 位

株式会社 三井住友銀行

がんこフードサービス株式会社の「S M B C食・農評価私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、がんこフードサービス株式会社（代表取締役社長：東川 浩之）の発行する「S M B C食・農評価私募債」を買受け致しました。

「S M B C食・農評価私募債」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の食・農取組を評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、取組内容に関する今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供するものです。

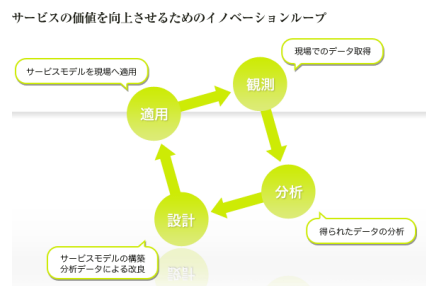
今回対象となったがんこフードサービス株式会社は、「経営層のコミットメント」、「消費と供給の合理化」、「食の安心・安全に対する姿勢」において高い水準であると判断され、企業経営において大変優れた食・農取組を実施されているとの評価になりました。

特に、従来、生での流通が難しかったしらすを生で提供できる体制を整えたり、マグロを冷凍せずに流通させ提供するなど先端的な物流・調理技術を駆使して一次産品の付加価値販売に貢献されている点、 外食産業にサービス工学を適用し、研究機関と連携して効率・効果的な価値提供のための手法を研究・実践されている点、 安全管理、廃棄物管理等についても行動目標を超えた数値管理に取り組まれており、業界内でも先導的なポジションにある点、が高く評価されました。

三井住友銀行では、「S M B C食・農評価私募債」により、日本の「食生活の向上」及び「農水産業の強化」に繋がる取組を、金融を通じてご支援して参ります。



マグロの流通体制の構築



サービス工学を適用したイノベーションモデル

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。